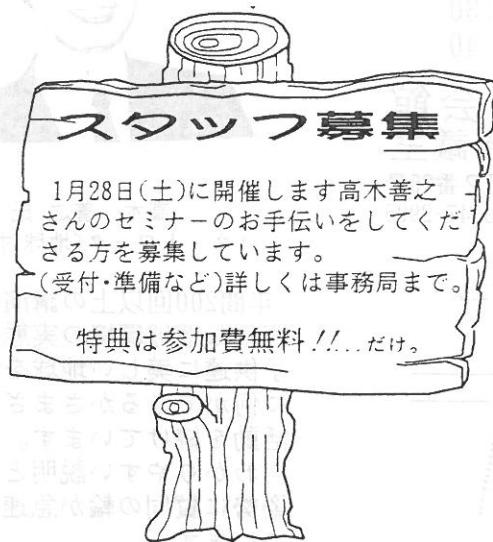


## アドバイザリーコーナー

このコーナーでは、皆さんからのお便りを募集しています。

- ・日頃から疑問に思っていること、感じていること。
- ・日頃から心掛けていること。
- ・あなたの夢、やってみたいこと、また実際やっていること。
- ・あなたが影響を受けた、人、本、出来事。
- ・当会への、ご意見、ご提案、ご要望など。
- ・その他、人に聞いてほしいこと、伝えたいことなどなど。

お便りおまちしていま～す。



電話でお話しができた方、お手紙をいただいた方、また、直接お会いする事ができた方など、ほんとに多くの方とお会いすることができました。この貴重な出会いを大にしたいきたいと、昨年の10月頃より、何かつながらになるものをと思い、ようやく会報を作ることができました。まだまだ未熟な出来映えですが、毎月発行していくたいと思います。

多数の要望があつて始めた訳でもなく、どちらかというと私自身のために始めたことですので、年会費をいただくのはおこがましいと思いますが、続けていくには、経費もかかります。そこで、牛ノ宮ウイークリー式に自由価格としたいと思います。

こんなのいるないという方は、0円。お金が腐るほどある方は、?万円。ちょっとおもしろそだと思ったら出せる範囲で、いただいた月から一年間は、確実に発行させていただきます。（切手、現金書留、郵便振替、どれでもOK。）

今後ともよろしくお願ひいたします。

1995年1月5日発行

創刊号

# 縁コロジー

発行: 地球にイコトやつる会  
作成・編集: 川北辰実

ればそれでいいや。”と、なるでしょう。以前は私もそう思っていました。しかし、考え方をポジティブに“何か意味があるに違いない、自分にも何かできるはずだ。”と、自分を信じ、出来ることから、思いついたことからとりあえず始めてみると、自分や、周りの状況まで、たった一年でも驚くほど進歩するという事を体験することができます。

私自身、ちょっとした思いつきのようなもので去年の1月に『地球にイコトやつる会』の名刺を作りました。作ったら配りたくなるのが人情。会う人会う人に配り、自己満足していました。そのうち、もうちょっと違うことがしたくなった頃に、新聞にフリーマーケットの案内があり、出店しました。売上はさっぱりだったのですが、その時に一人の女性に出会い、その人の出会いがいい刺激となり、今考えるとかなり無茶でしたが、ほとんど勢いで『地球村』の高木善之氏のセミナーを企画し、それをキッカケにまた新たな出会いをたくさんいただきました。しかし、それは決して偶然ではなく必然的に起こったのだと実感しています。

誰でも底知れぬパワーを秘めています。私達一人一人がそのことに気づき、ある種の直感とワクワクする心を羅針盤に行動していくれば、必ず素敵な明日が来るでしょう。

貴重な出会いをいただける縁と、当たり前のように生きられる環境を作り出している地球を、大切にしていこうという人達の情報交換ができる場として、また、出会いの場として、そして、私のワクワクする気持ちにしたがって私自身の成長のために、『縁コロジー』を発行させていただきます。



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

皆さんにとって1994年はどんな年でしたか。楽しかったこと、悲しかったこと、いろいろあったと思います。私にとって1994年は、大きく行動を起こした年でした。行動を起こしたことによって、以前より探し求めていた漠然とした何かが見えてきたような気がします。自分が今まで考えてきた事や経験してきた事の、ほとんどすべての事がつながっているのを理屈ではなく、Heart(心)でわかったような感じがしています。また、地球のこと、子供達の未来のことを真剣に考えている人達とも多く出会うことができ、不思議な“縁”も感じています。俗に云う宗教にはほとんど関心も無く、どちらかというと避けていた方でしたが、この一年を振り返ってみると、何か見えない存在（自然？宇宙？気？波動？運命？創造主？はたまた神？仏？？）を感じずにはいられません。

世間に目を向けると、バブル崩壊後から続く景気の停滞、政治の混迷、一昨年の冷害による米不足の次は年末まで給水制限が続くほどの深刻な水不足、そしていじめによる相次ぐ自殺等、出来事だけを捉えると何か殺伐とした感じがします。環境問題も各方面で叫ばれてきました。オゾン層破壊、地球温暖化、森林破壊等々、どれを取っても緊急的な問題ばかりですが、これと云った解決策はでていません。それどころかオゾンホールは過去最大に、温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の2000年時点での排出量を1990年レベルに抑制するのは困難という発表まで出されました。

これらの事柄は、果たして解決不可能なのでしょうか。また、何の意味もなく起こり、何の関連性もないのでしょうか。

今までの考え方、価値観でいくと、“何がどうなってるのか訳も分からぬし、無力な人間一人が考えたところで仕方がない、だったらあまり気にせず、波風がたたないように一日一日をなんとなく過ごして、そこそここの生活ができ

# 地球イコトやつて3月つてこんな感じです

## 理念

環境問題をはじめ私達の周りには、さまざまな問題（医療・食糧・高齢化・福祉・政治・etc...）がありますが、これらの問題はすべて私達一人一人の意識（価値観）を変える事で解決できると思います。そこで当会は、その事を知りたいためのさまざまな活動を行い、より多くの人達に地球と共生できる調和のとれた生活を送っていただけるよう提案や情報交換ができるネットワークを目指しています。

## 活動内容

- ◆ さまざまな分野の講師をお招きしてのセミナーの開催。
- ◆ その他のイベント（クリーン作戦、フリーマーケット、etc...）の企画・開催。
- ◆ 情報交換の場として利用できる会報の発行。
- ◆ 人や地球のことを考えた商品の販売。

## 理想へのステップ

- Step1. まず事実を知る。  
(前進するにも、現在地がわからなければ、どの方向に進めばいいかわからない。)
- Step2. 知ったことをポジティブ（肯定的）にとらえ、受け入れる。  
(否定的にとらえて、起きてしまった事にくよくよしたり、批判しても前へは進めない。)
- Step3. あるべき姿・形（理想の姿）をイメージする。  
(私たちが本気で思った事、願った事は、必ず現実に起こります。いい事も、悪い事も。)
- Step4. 行動を起こす。  
(あまりむずかしく考え過ぎない。明るく、楽しく、とりあえず出来る事から始めてみる。)
- Step5. 理想の自分（社会）が実現する。  
(嘘だと思う方は、とりあえずStep4まで試してください。きっと体験出来ます。保証します。)

## 推薦図書

### ☆船井幸雄の人間の研究、続・人間の研究、完結・人間の研究（P H P 研究所）

本を読まなかった私が、読むようになり、その他あらゆるキッカケとなった本です。もし、約二年前にこの本にめぐりあっていなかったら、今の私はなかったかも。なぜ、人は生まれるのか。私たちが目指すものは何かわかりやすく書いてあります。

### ☆パシャール1、2、3（ウォイス社）

落ち込んだときにこの本を読むと元気が出できます。チャネリングによる宇宙存在パシャールからのメッセージ集。存在の有無はさておき、情報自体はためになることはかり。

### ☆自然流「せっけん」読本（農文協、森田光徳著）

水がなぜ汚れたのか疑問に思っているときにめぐりあった本。日常生活でなにげなく使っている、洗剤、シャンプーなどの、環境や人に与える影響がわかりやすく書いてあります。

## セミナーのご案内

### “知ってるつもり”の地球、本当は？ —子供たちに美しい地球を—

テーマ 地球温暖化 & 森林破壊

講 師 高木 善之 氏

日 時 1995年1月28日（土）

受付：13:00 ~

セミナー：13:30 ~ 15:30

Q&A：15:40 ~ 16:40

会 場 四日市市労働福祉会館  
3F 大会議室

四日市市日永東一丁目2番25号

☎(0593)47-2995



参加費 1,000円

（電話またはFAXでご連絡くださいか、しんせん四日市店☎(0593)53-7986で前売り券をお求めください。）

お待たせしました。前回、大好評だった高木善之さんによる第二回目のセミナーを、上記の日時、場所で開催いたします。

「環境のことは“知ってるつもり”だったけど、

知らなかった事の多さに驚きました。」

「参加して本当によかったです。」

「いいキッカケになりました。できることから始めたいと思います。」

等々の、声をいただきました。

一人でも多くの方に事実を知りたいと思います。

皆さまのご参加お待ちしています。



高木 善之 氏  
(ネットワーク『地球村』代表)

年間200回以上の講演を通じて深刻な地球環境の実態を伝え、子供達に美しい地球を残すため何ができるかさまざまな提案活動を続けています。

わかりやすい説明と非対立の姿勢に賛同の輪が急速に広がっています。

モントリオール会議、プラシル地球サミット等国際会議に出席。

日本環境会議・環境科学会所属松下電器産業（株）副参事。